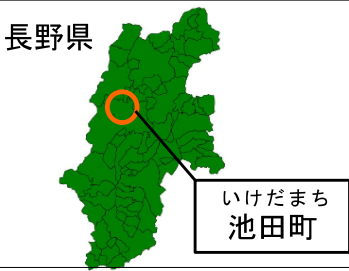


【工夫のポイント】

- 中山間地域特有の傾斜地や水はけのよい土壌、風通しの良い気象等を活かしたワイン用ぶどう栽培を展開。
- 醸造メーカーとの契約栽培とともに北アルプス・安曇野ワインバレー特区（※）の認可を活用し、農業生産法人がワイナリーの建設を予定。
- 県営事業により優良生産団地を形成し、更に団体営事業により荒廃桑園を再生し、面積を拡大。

※ ワインバレー特区・・・「域内の原料を使用する」など一定の要件を満たした場合、ワイン製造免許に係る「酒税法の定める最低生産量」等の規制が緩和される地域。

【取組地域の概要】

- 位置
きたあづみぐん いけだまち
長野県北安曇郡池田町（特定農山村等）

- 傾斜
・約1/20程度
- 主要作物
・水稻、大豆、果樹（りんご、ワイン用ぶどうなど）
- 主な支援施策
・新農業構造改善区画整理事業（S63～H1）
・県営畑地帯総合整備事業（H14～H22）
・県営中山間総合整備事業（H14～H23）
・農地耕作条件改善事業（H27～R1）

生産性の高いワイン用ぶどうのほ場を整備

- 中山間地域の傾斜地を活かして、ワイン用ぶどうの生産に適したほ場を整備。
- 更なる面積拡大を図るため、小規模なほ場整備により荒廃桑園を優良農地に再生。



基盤整備

（県営：H14年～H22年）
（団体営：H27年～R1年）

【整備前】

養蚕業の衰退により、かつて桑園だった傾斜地が荒廃化。



高品質なワイン用ぶどうの栽培

- 共同防除の実施、糖度測定による適期収穫、AIの導入による栽培技術の確立等、高品質なぶどう生産に向けた様々な取組を実施。

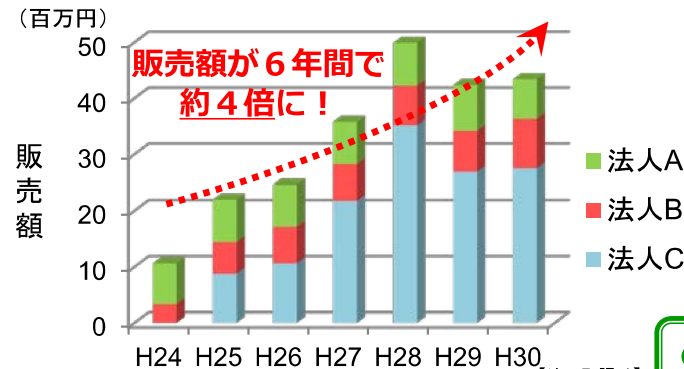
- 地元産のワイン祭りを開催（H26～）。


ワイン用ぶどうの生産振興等による町内生産法人の販売額の増加

- 基盤整備を契機として池田町内で新たに2法人が設立され、ワイン用ぶどうを栽培・出荷。
- ワイン用ぶどうの生産振興とブランド化の推進を通じて、町内の生産法人の販売額が約4倍に増加。



＜ワイン用ぶどう販売額の推移（主要3法人＞）



生産現場

加工・流通

地域の生産法人等による流通体制の構築

- 醸造メーカーとの契約栽培やブランド化により、安定した流通体系を構築。
- 農業生産法人がワイナリー経営にも着手予定。

